

基本目標5 産業が元気で魅力と活力にあふれ働きがいのあるまちをつくる

施策5-1 自然の恵みを生かし豊かで持続可能な農業を守り育てる

No.	意見	
1	【施策の方向性(1)】 農地集積・集約化が進み、効率的な農業が推進されていることが伺える。農地中間管理事業の活用の際には、耕作者や土地所有者の要望等も吸い上げ、生産性の高い良好な耕作地となるよう努めていただきたい。	
2	【施策の方向性(3)】 全国梨選手権で市内の農園が最高金賞を受賞されたが、作物の販売シーズンも短いため、どんな作物においても即時に情報を広く活用できるような体制づくりに努められたい。	
3	【施策の方向性(4)】 スマート農業の導入支援について、積極的に取り組まれたい。	
4	【施策の方向性(5)】 農業振興拠点(道の駅)の整備について、基本設計等にかかる時間を短縮し、早期実現に向けて努力していただきたい。	
No.	質問	回答
5	【5-1全体】 久喜市の農業の特色は何か。 詳細がわかるHP等の参照先があれば示されたい。	久喜市のおおむね平坦な土地や、夏は高温多湿、冬は低温乾燥な気候を生かした稲作や果樹栽培が盛んです。 詳細は久喜市ホームページに掲載しております、「第2次久喜市農業農村基本計画」をご参照ください。
6	【施策の方向性(2)】 新規就農希望者は徐々に増えており、「明日の農業担い手育成塾」は久喜市では活発化させるべきだが、今後の塾の開催予定はあるか。	久喜市明日の農業担い手塾は、埼玉県農業大学校卒業程度の農業技術を有している者を入塾対象としているため、新規就農希望者に対しては農業技術取得のために、埼玉県農業大学校への入学を勧めているところです。今後につきましては、入塾希望者の栽培予定品目を指導する農家が見つかった場合等、研修条件がそろえば開催する予定です。
7	【施策の方向性(5)】 近隣市でも道の駅が設置されているが、久喜市ならではの独自性は検討されているか。	近隣の自治体において、道の駅の整備が予定されていることから、他の道の駅と差別化される道の駅を整備することが必要であると考えております。 そのため、「健康・スポーツ都市」として、スポーツに親しむことができる施設の整備や、市の特産である梨やいちご等の地域の農業資源を活かした農業振興の拠点となる施設を整備することを検討しています。

施策5-2 まちの賑わいを支える商工業を振興し経済の活性化を図る

No.	意見
1	【5-2全体】 市内経済の循環の促進や新規事業を始める環境の整備、次世代産業基盤となり得る企業の進出について、積極的に推進を図られたい。
2	【施策の方向性(1)】 企業誘致を推進する体制として、企業表彰制度など、誘致企業側にメリットのあるものを久喜市独自の施策として導入を検討し、実施されたい。
3	【施策の方向性(1)】 中小企業を対象とした相談、経営改善指導を更に推進されたい。
4	【施策の方向性(1)】 久喜市商工会等と連携し、地域の人材が地域経済に関わる支援を実施されたい。
5	【施策の方向性(1)】 街の賑わいの創出に向けて、地域の企業やコミュニティへの情報提供や支援を実施されたい。
6	【施策の方向性(2)】 久喜市独自の施策であるビジネスグランプリ事業を、より周知されるよう努められたい。
7	【施策の方向性(3)】 企業誘致について、新しい企業を誘致できるよう、時勢に対応した制度の運用を期待する。

No.	質問	回答
8	【施策の方向性(2)】 ビジネスグランプリ事業が継続できなかった理由はなにか。今後は開催されるのか。 応募者確保のための方策として、商工会主催の創業塾との連携もできるのではないのか。	応募者確保に課題があるため、隔年開催事業としております。 応募者確保のため、市のホームページのビジネスグランプリのページにおいて、ビジネスプラン作成の支援として久喜創業塾の利用をお知らせしているところです。
9	【施策の方向性(2)】 インキュベーション施設として、創業支援ルームのような施設を作ることはできないのか。	市は、インキュベーション施設整備補助事業において、補助金を交付してコワーキングスペースやシェアオフィスなどの機能を有するインキュベーション施設を整備しました。春日部市や川越市にあるような県の創業支援ルームはございません。

施策5-3 誰もが働きがいを感じられる雇用と働きやすい環境をつくる

No.	意見
1	【施策の方向性(1)】 求職相談件数に対して、斡旋や就職者数が少ないように思われる。県やハローワークなどと連携し、より多くの就業機会が確保されるよう努めていただきたい。
2	【施策の方向性(1)】 働きたいと思っている人が地域においてライフスタイルに応じた就労ができるよう支援を行い、地域の労働力確保に向けて取り組んでいただきたい。
3	【施策の方向性(3)】 誰もが働きやすい環境づくりには民間企業との連携が不可欠と思われる。企業誘致のための横断的な取組みを推進されたい。

No.	質問	回答
4	【施策の方向性(2)】 勤労福祉センターは、どのような方を利用対象としていて、どのようなことに利用されているか。	利用対象は、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町及び杉戸町に居住する方と久喜市内の事業所に勤務している勤労者及び勤労者の団体等です。 利用内容は、主に卓球、吹奏楽、会議等となっています。

基本目標6 水や緑と共生しやすさが生まれ地球環境にやさしいまちをつくる

施策6-1 生物多様性の保全と快適な自然環境の創造により自然との共生社会をつくる

No.	意見	
1	【6-1全体】 水鳥の邪魔をすることなくバードウォッチングが出来る香取公園の野鳥観察広場は、大型商業施設の隣という好立地でありながら、あまり知られていないと思われる。企業と連携して周知の工夫をされたい。	
2	【施策の方向性(1)】 土地開発による利便性の向上だけでなく、今後も継続して自然環境保全地区の保全活動に努められたい。	
3	【施策の方向性(1)】 市の保有する森林などを有効に活用し、自然環境の創造に活用されたい。	
4	【施策の方向性(2)】 予算の方向性は縮小だが、市民の環境問題・ゴミ問題に対する意識向上のため、「ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動」を更に多くの人が参加するイベントとして推進されたい。	
No.	質問	回答
	なし	

施策6-2 廃棄物の適正処理と効果的な資源循環を推進する

No.	意見	
1	【6-2全体】 焼却処理した後の焼却灰の再資源化など、ごみの排出量を削減できるよう、リサイクルの推進に更に努められたい。	
2	【施策の方向性(2)】 新ごみ処理施設が予定どおり稼働できるよう、地域住民・関係機関との連携を更に深めてもらいたい。	
No.	質問	回答
3	【KPI】 KPIに設定している最終処分量とは何を指しているのか。 また、焼却灰の埋立先は埼玉県内か。	不燃物の処理工程やびん・缶・ペットボトルなどの選別工程で発生したリサイクルできない不燃性廃棄物を最終処分場で埋立処理しているものを指します。 焼却灰は寄居町、熊谷市及び栃木県小山市の3か所で処理をしています。焼却灰は埋立処理をしておらず全量を資源化処理（セメントの原料等に活用）しています。
4	【施策の主要課題】 久喜市ごみ分別アプリの利用者はどのくらいか。 また、さらなる周知のための方法はどのようなものが考えられるか。	11月1日時点で、29,640人の方にダウンロードいただいています。引き続きホームページ、広報紙で周知を図っていくとともに、新ごみ処理施設の見学時に併せて周知を図ります。
5	【施策の方向性(2)】 余熱利用施設及び(仮称)本多静六記念市民の森・緑の公園のガバナンスコード(企業の持続的な成長や向上を目指すための取組み)はどのように確立され、行政はどのように関わるのか。	PFI手法で実施する本事業では、本事業のみを実施する特別目的会社(SPC)と契約しております。SPCは、要求水準書や事業契約書、提案内容等に基づき事業を実施する必要があることから、SPCにとっての行動指針は既に確立されているものと考えております。 市は、この要求水準書等に記載された内容が適切に履行されているか、定期的なモニタリング(監視や確認)を行っており、官民一体で市民サービス向上に向けた取組みを進めております。

施策6-3 地球環境問題に対応したゼロカーボンシティを目指す		
No.	意見	
1	【6-3全体】 世界的な環境問題対策の動向を注視し、市の環境への取組みに適切に反映されたい。	
2	【施策の方向性(4)】 電気自動車の導入が脱炭素化の推進に単純につながるとは限らないため、脱炭素化に向けた他の取組みも推進されたい。	
3	【施策の方向性(4)】 公用車の電気自動車への切替えの推進には疑問がある。メリット、デメリット面を再度洗い出し、検討いただきたい。	
No.	質問	回答
4	【KPI】 施策の主要課題欄に、「目標達成に向けて環境マネジメントシステムの見直しを行いました」と記載があるが、見直しの具体的内容を示されたい。	第3次久喜市環境保全率先実行計画に掲げた市の事務事業の温室効果ガス総排出量の削減に関する目標値を当該システムに盛り込みました。 盛り込んだ目標の達成に向けて、当該システムで取り組む項目のうち、上記の目標に関連する項目について数値目標を定めております。
5	【行政改革に資する事業・取組み①】 近年、プラグインハイブリッド車(外部から充電できるハイブリッド車)の普及も進んでいるが、公用車にこれらの導入を進めることは可能か。	公用車の用途としては、市内における近距離の移動が多いことから、比較的安価であり、小型車も選択が可能な電気自動車の導入を進めたいと考えております。

基本目標7 市民一人ひとりが主役！絆を大切にし協働・共創のまちをつくる

施策7-1 地域コミュニティと協働のまちづくりを推進し絆を深める

No.	意見	
1	【施策の方向性(1)】 コミュニティセンターの利用時間の変更、休館日の増設が予定されているとのことだが、市民にとって利便性の良い施設であってほしい。	
2	【施策の方向性(1)】 地域において、世代や立場を超えて交流し、知識や経験を共有して、街づくりに活かしていただけるよう、取り組んでいただきたい。	
No.	質問	回答
3	【施策の方向性(1)】 活動指標「コミュニティセンター利用者数」の実績値が目標値より大幅に下回っている要因はなにか。	新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、多くの利用者団体が活動の縮小や休止等を余儀なくされていた影響があるかと考えます。 また、令和5年4月から市内の公民館8施設がコミュニティセンターへ移行し、広報等で利便性の向上を周知しましたが、利用者に戸惑いを与えてしまった可能性もあります。
4	【施策の方向性(1)】 公民館からコミュニティセンターに移行したことに伴い、利用率はどのように変化したのか。	令和4年度の旧公民館8施設の利用率は、全体で27.91%でした。 また、令和5年度の旧公民館8施設の利用率は、全体で26.85%であったことから1.06ポイントの減少であり、利用率に大きな変化はありませんでした。
5	【7-1全体】 協働のまちづくりの推進について、若い世代の市民参加を促す取組みの方向性はどのようなものか。	若い世代の市民参加を促進するためには、若者の興味関心や生活様式に合わせた多様な取組み方法が必要と考えます。 市長と若い世代との座談会等、若い世代の意見を積極的に市政に反映する取組みを継続的に行ってまいります。 また、附属機関の会議等をオンラインで開催するなど、デジタル技術等を積極的に活用し、若い世代が参加しやすい環境づくりを進めてまいります。

施策7-2 地域間や国外との幅広い交流を促し出会いを大切にする		
No.	意見	
1	【施策の方向性(2)】 海外の姉妹都市との交流において、児童生徒や学生が参加する場合は、文化や価値観の違い等、こどもの人生に影響を与えるような経験を積むことのできる交流を目指していただきたい。	
No.	質問	回答
2	【施策の方向性(3)】 「日本語学習支援活動を行う鷺宮国際交流協会への補助金交付は継続」と記載があるが、ほかの地域の団体への補助金交付はないということか。	市内で日本語学習を支援するボランティア団体は5団体ありますが、現在、「久喜市国際交流協会補助金交付要綱」に基づき補助金を交付しているのは、鷺宮国際交流協会のみとなります。他の団体は、市民活動推進補助金の交付を受け活動している団体もあります。

施策7-3 多種多様なステークホルダーと連携する		
No.	意見	
1	【全体】 行政サービス向上のため、民間活力を生かした施策を更に推進されたい。	
2	【全体】 高等教育機関や民間事業者と積極的に連携し、地域における人の繋がりを生む機会を創出するなど、様々な取組みを進めていってほしい。	
3	【施策の方向性(3)】 PFI等官民連携の手法を積極的に取り入れ、民間の創意工夫を有効的に活用し、行政の効率化に努められたい。	
4	【施策の方向性(3)】 PFI/PPPの候補者選定において、応募した事業者の情報について多角的に検討し、事業や受益者に対するコミットメント(提案内容)を審査する体制をお願いしたい。	
No.	質問	回答
5	【施策の方向性(1)】 「久喜市SDGs推進パートナー登録制度」の企業側のメリットはなにか。また、周知・普及啓発を行った実績はあるか。	登録者側におけるメリットとしては、市が登録者に「久喜市SDGs推進パートナー登録認定証」を交付し、市ホームページで公表しますので、登録者が市内においてSDGsの達成に寄与する取組みを進めていることをPRすることができます。 令和5年度における本制度の周知・啓発として、ホームページやSNS、広報くき令和5年9月号での発信を行ったり、市内の小中高校や包括連携協定の締結先に通知したり、市内商業施設にて啓発活動を行ったり、ケーブルテレビ久喜において紹介したりするなど実施しました。
6	【施策の方向性(2)】 BRIDGE LIFE Platform構想にて検討されている次世代モビリティについて、導入のメリットや道路交通法における課題があれば伺いたい。 また、次世代モビリティが市内の他地域へ導入される可能性はあるか。	「BRIDGE LIFE Platform構想」において走行実験が行われているモビリティは、普段の買い物やごみ捨ての負担の軽減、徒歩での移動が難しい方の補助などの役割を果たすことができるものと考えています。 一方で、現行の道路交通法は、公道での自動走行に関する詳細なルールが定められておらず、当該モビリティを正式に導入できる時期の見通しは立っていません。 将来的な社会実装に向けては、当該モビリティが公道において一般の交通に支障をきたさないこと、歩行者の安全が確保できることなどを立証していく必要があると捉えています。

施策7-4 広く久喜をPRして賑わいを創出しまちの魅力を高める

No.	意見	
1	<p>【全体】 「市民一人ひとりが主役！」を実現するため、市民が各々の知識や能力を活かして活躍する機会が必要である。市民に伝わるよう、市の組織で戦略的にPRに取り組んでいただきたい。</p>	
2	<p>【KPI】 KPIとして「人口推移における社会動態の増加数」の記載があり、3327.5%の大幅な達成率となっている。この施策の達成度を評価する指標として適切とは思えない。自然減も含めて施策を実施することが行政の取組みとしては好ましいと考える。</p>	
3	<p>【施策の方向性（1）】 久喜市で建設を予定している余熱利用施設や公園、道の駅などの未来図や、市民サービスを取りまとめた冊子等を作成し、民間企業と連携してプロモーション活動を行い、市民の増加につなげられたい。</p>	
4	<p>【施策の方向性（2）】 コスモスフェスタ、ブルーフェスティバル入場者数の目標を、7万人、10万人と設定することに無理があると思われる。市内外から多くの方が来場するような、より魅力的なイベントとされたい。</p>	
5	<p>【施策の方向性（3）】 本多静六博士については、市民にもまだ浸透していないようにも感じられる。「久喜市の偉人」として、功績の紹介を発信し続けていただきたい</p>	
6	<p>【施策の方向性（3）】 本多静六博士のことを学校教育で取り上げたり、PR活動を行ったりすることで、知名度を上げるとともに久喜市を活気づけられたい。</p>	
No.	質問	回答
7	<p>【施策の方向性（2）】 コスモスフェスタ、ブルーフェスティバル入場者数の実績値が目標値を大幅に下回っている要因は、どのようなものと分析されているか。</p>	<p>コロナ禍以降なくなっていた飲食出店が令和5年度より再開されることとなり、入場者数の回復を見込んで目標値を設定しましたが、想定よりも入場者数が少なく、実績値が下回る結果となったためです。また、コスモスフェスタについては、当日悪天候であったことも、入場者数が少なかった要因であると考えられます。</p>
8	<p>【施策の方向性（3）】 本多静六博士の関連施設を歴史的財産の観光資源として活用し、ふるさと納税の返礼品として検討可能か。</p>	<p>市内における本多静六博士関係施設は、本多静六記念館（菖蒲行政センター内）、本多静六博士生誕地記念園（道のオアシス内）、本多静六の森（三崎の森公園内）がございます。 いずれの施設も利用料無料であるため、ふるさと納税の返礼品の対象となっていないところでございます。</p>

基本目標 8 持続可能でスマートな行政を運営し市民生活を支えるまちをつくる

施策 8-1 時代に順応した行政改革を推進する

No.	意見
1	【8-1全体】 全施策にも関連するが、PDCAサイクルによる施策の実現に向けた行政運営を図るべく、できればそのサイクルをもっと早く回す仕組みに変更、検討願いたい。
2	【8-1全体】 市職員一人ひとりが能力を向上し、業務の改善や効率化を進めることによって、行政組織の質の向上に取り組まれない。
3	【施策の方向性(1)】 行政評価において、事業の量的成果に加え、評価方法を検討いただきたい。
4	【施策の方向性(1)】 行政評価委員会は開催回数3回でもかなりタイトなスケジュールである。 日程の間隔をあける、資料を余裕をもって委員へ送付するなど、今後の運営の仕方は検討いただきたい。
5	【行政改革に資する事業・取組み③】 能力開発目標を個人・部門レベルで設定して、組織能力の強化に取り組まれない。

No.	質問	回答
6	【施策の方向性(1)】 令和7年度は行政評価委員会は2回開催となっているが、初回の資料説明等を行う必要がないという理由か。それとも今後は2回開催を定例としていく予定なのか。	令和6年度の委員会では、第1回に諮問と行政評価の概要説明を実施し、第2回と第3回で行政評価結果について審議しました。ご質問にあるとおり、令和7年度委員会では、令和7年度の行政評価委員会では、行政評価結果の審議のみ予定していることから2回開催としています。令和8年度委員会では、行政評価結果の審議2回に答申1回を加えた、3回の開催を予定しています。
7	【施策の方向性(2)】 久喜市職員について、ハラスメントや公益通報に関する内部窓口は存在するか。担当部署や規則等の内容について伺いたい。 また、市職員に対するカスタマーハラスメントへの対策マニュアルは作成されているか。	ハラスメント及び公益通報については人事課が窓口となっております。ハラスメントの防止に関しては、ハラスメントの種類や内容、ハラスメントを行った者への対処等を示した「久喜市職員ハラスメントの防止に関する指針」により職員へ周知するとともに、ハラスメントの相談窓口や相談の流れを示した「久喜市職員ハラスメント相談実施要領」に基づき職員からの相談対応を行っています。 また、公益通報に関しては、公益通報の方法や公益通報の事実関係の調査について規定した「久喜市職員の公益通報に関する要綱」に基づき対応を行います。 市職員に対するカスタマーハラスメントへの対策マニュアルとしては、「久喜市職員のための不当要求行為等対応マニュアル」を作成しております。
8	【行政改革に資する事業・取組み⑨】 公共建築物の総延床面積の測定値を活動指標とすることのみで、公共施設アセットマネジメントの推進を評価できるのか。	公共施設アセットマネジメントとは、公共施設を一元的に把握して、将来の費用負担を推計し、その上で、老朽化した施設の統廃合や余剰施設の複合的な活用などを行い、一定の行政サービスを維持しつつ、長期的な財政支出の削減を図る取組みのことです。 延床面積を減らすことは、そこに係る将来更新費用や維持管理費等、その分の財政負担を軽減することに繋がることから、総延床面積を活動指標とし評価することは適当であると考えております。

施策8-2 DXによる行政のデジタル化を推進し市民の利便性を高める		
No.	意見	
1	【施策の方向性（1）】 オンラインでの申請が可能になることで、利便性が格段に向上している。電子申請システムの拡充に期待する。	
2	【施策の方向性（2）】 産官学連携のまちづくりプロジェクトに参加した市職員の知見を、他事業への活用や市職員の人材育成に活かしてほしい。 また、本プロジェクトについて、地域住民と連携して、市民が活躍できる場を創出してほしい。	
No.	質問	回答
3	【施策の方向性（1）】 公衆無線LANについて、通信キャリアの公衆無線LANサービスの誘致などの方法で構築できないか。	2010年頃からスマートフォンの急速な普及に伴い、携帯電話事業者各社による公衆無線LANサービスが提供されておりました。 公衆無線LANサービスの提供について携帯電話事業者に確認したところ、近年のインターネット通信環境の変化等とともに、公衆無線LANサービスの提供は縮小傾向にあり、公共施設への導入や運用に係る経費については、有償（市単独導入と同様の費用）になるとの回答でございました。 このことから、現状におきまして、携帯電話事業者による公衆無線LANサービスの提供につきましては効果が低いものと考えております。

施策8-3 持続可能で健全な財政運営と透明性の高い行政運営を確立する		
No.	意見	
	なし	
No.	質問	回答
1	【施策の方向性（3）】 令和5年度実績 公文書の公開請求について、受付件数より決定件数が多いのはなぜか。	公文書の公開決定には公開決定、部分公開決定、非公開決定の3種類があります。1件の公開請求に対して対象の公文書が複数あり、公文書によって決定内容が異なる場合には複数の決定をしているため、受付件数より決定件数が多くなっています。

全体に対する意見・質問		
No.	意見	
1	市の実施している施策を、より広く市民へ周知するための工夫が求められる。	
2	公共施設について、組織の垣根を超えた、包括的または効率的な維持管理や運営方法を検討されたい。	
3	「美しい田園都市の景観」を創造する観点から、市の施策全般について、環境に配慮した政策を推進されたい。	
4	市の各施策について、国や県の事業や補助金等を積極的に活用されたい。	
5	基本目標には定量的に測れる部分と、定性的な部分、そして市民の評価などもあるかと考える。K P Iの数値目標が、必ずしも基本目標全体の達成具合を見定めることに妥当性があるとは思えないケースも見受けられる。K P Iは事務事業（細施策）で利用し、基本目標は違う設定の仕方に変更するなど検討されたい。	
6	行政評価シートの記載項目「決算額（円）」とあるが、本委員会での評価対象が分からないが、詳細が表記されていないため評価のやりようがなかった。 多数の案件があり、本委員会で重視する案件が分からなかった。行政評価委員会の開催回数は少ないと感じる。	
No.	質問	回答
7	成果指標や目標値について 令和5年10月の提言書において、令和5年度意見「課題の全体像を的確に把握し、その取組状況が相対的に評価できるように設定されたい。」や、令和4年度意見「時勢の変化に対して柔軟に対応し、施策の効果や進捗状況が検証しやすいものなるように検討されたい。」とあるが、令和6年度の行政評価にはどのように反映されたのか。	従前の総合振興計画や久喜市総合戦略における活動指標における評価結果などを参考に、施策の効果を測ることができるよう、第2次総合振興計画のK P Iや、実施計画に活動指標を設定しました。 活動指標の目標値については、見直し可能であるものとして設定しています。 また、施策の効果や進捗状況が分かりやすくなるよう、評価シートの内容を見直しました。K P Iの達成状況を把握しやすくするためにグラフを追加し、シートの構成に関連事業についての情報を加えて具体的な状況を確認しやすくしました。
8	PDCAサイクルについて 「PDCAサイクルを念頭に効果的かつ効率的な市政運営を推進していくこと」や「行政評価結果を受けて、事業の改善を行い、実施計画の見直しや予算編成への連携を適切に行うこと」（令和5年10月提言書）の目的達成に向けて、PDCAサイクルをもっと早く回すことは、令和6年度の活動においては、できないものだったのか。 また、課題解決のため、例えば令和7年度の活動に向けて、事務局として取り組んでいることはどんなことか。	令和6年度においては、第2次総合振興計画にあわせた新しい行政評価の運用に主眼を置いて運用しているところです。 今後については、PDCAサイクルの強化として、行政評価シートの完成時期を8月頃に早める検討を行っています。所管課が今後の方向性を早期に検討し、行政評価委員会の意見をより早く反映できるようになります。 年度単位の事業評価を継続することを検討しています。
9	活動指標として、イベントの実施回数が設定されていて、参加人数などは事業実績欄に掲載されている。イベントに対する評価方法・評価方針について伺いたい。	活動指標の目標値に関しては、回数や参加者数など、各課の判断で設けています。各イベントの内容に関しても、各課において評価等を実施しており、行政評価シートへの記載は割愛している部分が多数あります。
10	業務プロセスや組織リソースの評価に対する取組み、考え方について伺いたい。	業務プロセスは各課の各業務によって異なります。定期的に国や県の監査、市の監査委員会事務局による監査を実施しております。 適切な組織・人員配置のため、人事課において各課とヒアリングを実施し、翌年度以降の組織編成等に生かしています。働き方改革として育児休暇・介護休暇の取得率アップにより、適切な業務環境の整備に取り組んでいます。